

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和6年10月3日(2024.10.3)

【国際公開番号】WO2023/145287
 【出願番号】特願2023-576686(P2023-576686)

【国際特許分類】

G 0 6 F 1/16(2006.01)

G 0 6 F 3/03(2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/16 3 1 2 K

G 0 6 F 1/16 3 1 2 G

G 0 6 F 1/16 3 1 3 Z

G 0 6 F 3/03 4 0 0 E

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月3日(2024.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

図2は、実施の形態のタブレット装置（位置入力装置）の本体部1の分解斜視図である。図2に示すように、タブレット装置の本体部1は、長方形の底面の縁に沿って本体部側面15U、15R、15D、15Lが設けられて構成されたトレイ状の本体部筐体15内の最下層にマザーボード14が収納され、その上にLCD13が積層される。LCD13の表示画面13Dの上には、位置検出センサ12が設けられる。位置検出センサ12の上側にはフロントパネル11が設けられる。このように、マザーボード14、LCD13、位置検出センサ12が、本体部筐体15内に収納され、フロントパネル11により封入されて、本体部1が構成される。なお、本体部側面15U、15R、15D、15Lの上面が、操作面1Sの枠部15fとなる。また、図2の最下段に示したように、本体部筐体15の右側側面15Rの長手方向の中央近傍には、詳しくは後述する螺子穴1Hが設けられている。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

図2に示すように、LCD13の表示画面13Dの全面に対応して位置検出センサ12の検出エリア12Eが設けられる。つまり、表示画面13D上の位置は、必ず位置検出センサ12の検出エリア12E上の位置に対応しているため、表示画面13D上のどの位置が指示されたとしても、その指示位置を適切に検出できるようになっている。通常、位置検出センサ12の検出エリア12Eは、LCD13の表示画面13Dと同一形状で、LCD13の表示画面13Dよりもやや大きく構成される。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0048】

< 本体部に対する拡張部の取り付け位置 >

上述した実施の形態では、本体部1の右側側面15Rに拡張部2を接続する（取り付ける）ものとして説明したが、これに限るものではない。すなわち、本体部1の上側側面15U、下側側面15D、左側側面15Lに、螺子23に対応する螺子穴を設けるようにすれば、上側側面15U、下側側面15D、左側側面15Lにも、拡張部2を接続することができる。また、右側側面15Rの場合と同様に、上側側面15U、下側側面15D、左側側面15Lにも複数の螺子穴を設けることも可能である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

また、拡張部2において天板22は、図7に示したように、拡張部筐体21の側面の上面に載置するようにしたが、これに限るものではない。拡張部筐体21の上面からはめ込むようにしてもよい。いずれの場合にも、拡張部筐体21から天板22が容易に外れることが無いようにする必要がある。

10

20

30

40

50